



# 校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ヶ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 11 月 30 日

第 8 号

## 学校図書館に行こう！～進化し続ける市高図書館～

すでに気がついている人も多いと思いますが、今年度に入って、本校図書館のレイアウトが大きく変わり、ますます使いやすくなりました。

まず、6月のはじめには、図書室入口の利用者用荷物置棚と入口付近に設置されていた圧迫感のある7段書架2台が撤去され、入室しやすくなると同時に、とても見通しのよい明るい空間になりました。今年は、PTA「図書ボランティア」が発足し、様々な支援をしてくださっています。7月18日（土）には、PTA図書ボランティアと生徒ボランティアとの協力で、第2書庫の古い書籍を約6,000冊廃棄しました。10月には、カーテンがライトグリーンの遮光カーテンに新調され、目に優しく、明るくきれいな印象になりました。

つい最近では、11月21日（土）に保護者と生徒のボランティアによる共同作業で、今まで閉鎖1年生の教室からも入りやすいように、これまで閉鎖されていた後方の出入口を開放しました。また、この日は、書架の一部を移動し、十分なブラウジング・スペース（リラックスした雰囲気自由に雑誌や新聞、軽い読み物などを読むことができるスペース）を確保したので、図書館での読書がさらに楽しめると思います。現在、図書館では、全面的に本の入れ替えをして、新しい本が手に取りやすくなっています。



図書委員がつくってくれました。



閉館時の返却ボックス。閉館時には図書館前に置かれます

図書ボランティア（保護者）の皆さんによるクリスマスの飾りつけ



入り口のカウンターの上はこんな感じです。



新たなブラウジング・スペース



図書委員作成の「BOOK BOX」で紹介された本のコーナー



こちらは話題の本のコーナー

「うば」は市高図書館公式キャラクターです



### ■「知の巨人」小林秀雄の読書術

文芸評論家として有名な小林秀雄。その妹で劇作家の高見澤潤子の文章によると、小林秀雄は、小さい頃からよく本を読み、小学校を出るか出ないかの頃には、すでに谷崎潤一郎など、大人が読むような難しい本を読んでいたとのこと。

また、自身の著書『読書について』によると、高等学校時代には、これは学校の行き還りに電車の中で、これは家でというふうに、いつも何冊もの本を並行して読んでいたようです。そして、濫読については、「努めて濫読さえすれば、濫読になんの害もない。むしろ濫読の一時期を持たなかった者には、後年、読書がほんとうに楽しみになるということも容易ではあるまいとさえ思われる。読書の最初の技術は、どれこれの別なく貪るように読むことで養われるほかはないからである。」と思切った書きぶりです。そして、その読書欲は晩年になっても変わることがありませんでした。あの偉大な業績は、読書欲あってこそ。その蓄積のうえに成り立っているのだと思います。

### 読書のススメ

我が高校時代を思い起こすと、よく本を読んでいました。その頃は、ただ本を読むのが面白く、あらゆる知的好奇心を本の中に求めていたように思います。今思うと、知識や情報を得るのは勿論、本の中で時間や空間を自在に往き来し、著者を含め多くの人物と出会うことにより、世界観や人生観を広げていたことに気づきます。また、読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえでもとても大切です。

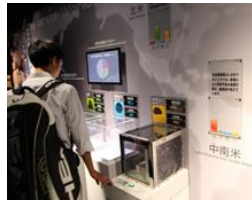
是非、図書館に行ってみましょう。話題の本や図書委員が直接購入してきた本もあります。きっと興味を持てる本に出遭うと思います。ふと手にした本に、一生を左右するような感動を覚えるかもしれません。図書館は皆さんの可能性を広げてくれる空間です。

## 新エネルギー教育 ～2つの実践

今年度、本校は、県教育委員会から「新エネルギー教育支援事業」の実践推進校に指定され、年間をとおして様々な教育を行っています。その中から、2学期に行われた2つの実践を紹介します。

### ◆◆ 2つの施設を見学

文化祭代休の9月16日(水)、希望者27名で、「三菱みなとみらい技術館」、「みなとみらい21熱供給株式会社」の2つの施設を見学しました。



世界の発電エネルギー (あと何年使えるの?)

午前中は、三菱みなとみらい技術館を見学。同館では、火力発電・原子力発電など、様々な発電の仕組みや構造、世界の発電エネルギーや化石燃料、ウランの可採年数、産出国、再生可能エネルギーの利用の仕組み等を学びました。また、宇宙・航空・海洋の分野では、ロケットや航空機の仕組み、動滑車や油圧ポンプを用いて仕事の原理等を学習。ヘリコプターの操縦も体験しました。

午後は、みなとみらい21熱供給株式会社を見学。事前学習では、熱冷暖房がもたらす地域のインフラとしてのメリットや地域モデル、震災時等のために用意しているバックアップ施設、各機器の役割や耐用年数等について学びました。実際の施設見学では、施設全体を動かす特別高圧電力や地域に冷水を送るポンプタンク、冷凍機(復水ターボ冷凍機・吸収式冷凍機)の仕組みについて、実物を見ながら学習することができました。

今回の見学では、初めて知ることがとても多く、改めてエネルギーの仕組みやその大切さについて学びました。

### ◆◆ 大学の先生をお招きしての講演会



原子炉安全のための原則

10月1日(木)の3、4校時に、本校1年生全員を対象に、

東京都市大学工学部原子力安全工学科の高木直行教授をお招きして、「エネルギーと環境、そして『なぜ原子力?』というテーマでご講演をいただきました。

主な内容は、種々の発電の仕組みや地球環境問題の本質(種々の発電、地球温暖化、生活の中で使用している電力)、原子力の科学的原理と技術開発の現状、社会情勢やエネルギー政策、安全で豊かな社会を支えるエネルギーの在り方、これからの未来を担う生徒たちにできることなど。生徒は、改めてエネルギーや原子力発電について深く学び、多くの視点からエネルギーについて考えました。

## 横浜北地区交通安全高校生・PTA大会

11月20日(金)の午後、鶴見区民文化センターで「横浜北地区交通安全高校生・PTA大会」が行われました。当日は、高校生や県警本部交通安全教育隊による劇や朗読、高校生・PTA企画による各校の生徒やPTAの発

表のほか、交通安全クイズもあり、会場がとても盛り上がりました。最後は本校生徒2名による「交通安全アピール」。

「みなさんは自転車に乗るときにどんなことに注意して運転していますか?」と題したアピール文をとおして、自転車に乗るときの留意点のほか、「高校生」という3年間が大人に近づく3年間であり、それは同時に責任が今まで以上に大きくなることを意味するということや自転車に乗る人だけでなく、全ての人が事故に遭わないことはもちろん、自分自身が加害者とならないためにも、自覚を持って自転車を運転していくことの大切さについてアピールしました。

その中で、自転車について「私たちにできること」として掲げた3つについて紹介します。

- 1 事前に自転車のルールをよく知ること。
- 2 運転をするときに降りかかる危険を予測すること。
- 3 きちんと整備された安全な自転車に乗る習慣をつけること。

大きな会場でしたが、とても堂々とした発表でした。



### ●最低賃金が改定されました●

10月18日から平成27年度神奈川県最低賃金が改定されました。

(改定前) **887円** ⇒ (改定後) **905円**

最低賃金は、「地域別最低賃金」といって都道府県によって異なります。今回の改定についても、金額、発効年月日が都道府県によって異なっています。

#### 「最低賃金」とは

最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を支払わなければならないとする制度です。

仮に最低賃金額より低い賃金を労働者、使用者双方の合意の上で定めても、それは法律によって無効とされ、最低賃金額と同額の定めをしたものとされます。したがって、最低賃金未満の賃金しか支払わなかった場合には、最低賃金額との差額を支払わなくてはなりません。また、地域別最低賃金額以上の賃金額を支払わない場合には、最低賃金法に罰則(50万円以下の罰金)が定められ、特定(産業別)最低賃金額以上の賃金額を支払わない場合には、労働基準法に罰則(30万円以下の罰金)が定められています。

- \* アルバイトも「労働者」です。もちろん対象になります。
- \* 本校では、キャリア教育の一環として1年生の冬に「労働法講座」を行っています。今年度は、1月18日(月)に開催する予定です。